

第1学年1組 音楽科学習指導案

令和3年7月9日（金）第3時限

指導者 壽野 明澄花

1 題材 リズムと なかよし

2 指導計画（8時間完了）

- (1) 曲に合わせて、「うん」と「たん」のリズム打ちをしたり歌ったりして、表現を楽しむ。・・・3時間
- (2) 「うん」と「たん」のリズムを模倣する楽しさを感じながら活動する。・・・2時間(本時2/2)
- (3) 「たん」と「たた」のリズムを打ったり、リズム表現を楽しんだりする。・・・1時間
- (4) 「たん」と「たた」のリズムをつくったり、つくったリズムを楽器で演奏したりする。・・・2時間

3 本時の指導

(1) 目標

「うん」・「たん」などいろいろなリズム打ちの表現があることを知り、友達がつくったリズムを模倣したり、友達と自分がつくったリズムをつなげたりして、楽しくリズム打ちをすることができる。

(知識・技能)

(2) 努力点とのかかわり

本学級の児童は、教師が考えた簡単なリズム打ちをよく聞き、まねをすることができる。しかし、自分で考えることが苦手な児童が多く、音楽に合わせて体で表現する活動では、友達の様子を見て同じ動きをすることにとどまる。そこで、本時の学習では、タブレットのアプリ「ロイロノート」を活用し、4拍分のリズム打ちを考える活動を行う。その際、手で打つか足で打つか、膝など体のどの部分を打つか選択して考えられるようなデジタルカードを用意し、「うん」と「たん」を使ったリズム打ちを一人で考えられるようにする。考えたリズム打ちを友達と共有することで、自分で考えたリズム打ちだけでなく、友達の考えたリズム打ちを試すことができるようにし、たくさんのリズム打ちを楽しむことができるようにする。また、友達が考えたリズム打ちと自分の考えたリズム打ちをつなぎ合わせ、拍によってリズム打ちをすることによって、より楽しむことができると考えた。その結果、様々なリズム打ちがあることに気づき、児童同士で学び合うことによって、より協働的な学習になると考える。

(3) 準備 教師用タブレット（1台）児童用タブレット（児童数）

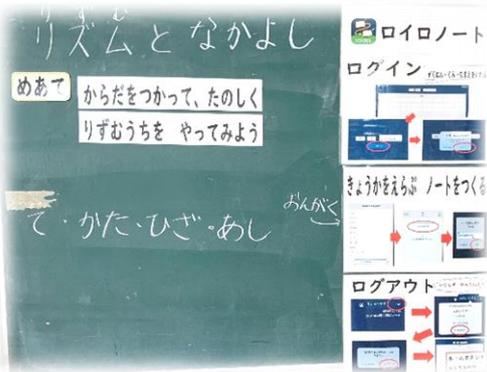
(4) 指導過程

時間配分	主な学習活動と子どもの様子
5分	<p>1 手遊びやことばあそびを使った集まれゲームなどに取り組む。</p> <p>今日のめあては「体を使って、楽しくリズム打ちをやってみよう」だよ。</p> <p>その前にみんなで少しリズム遊びをしようね!</p>

10分

2 本時のめあてを知る。

全員がリズム打ちを考えることができるように、リズムの打ち方を選択できるようなデジタルカードを使用する。リズムによって手を打つ活動をする。



10分

3 4拍分のリズム打ちを考える。

手や足、膝を使ったリズム打ちを考え、実際にやってみて、リズムの打ちやすさを考える。



15分

4 リズム打ちを共有する。

いろいろなリズム打ちがあることに気付く。また、友達の考えたリズムをやってみたり、自分の考えたリズム打ちを友達に伝えたりする。



5分

5 本時を振り返り、まとめをする。



評価事項

○ 「うん」・「たん」などいろいろなリズム打ちの表現があることを知り、友達がつくったリズムを模奏したり、友達と自分がつくったリズムをつなげたりして、楽しくリズム打ちをすることができる。【ワークシート・活動の様子】(知識・技能)

□…手や足、膝などを使って4拍分のリズムを打つことができる。

☆…自分の考えたリズム打ちと友達の考えたリズム打ちをつなげて、リズムを打つことができる。